

Event! the 世界遺産

主催 / 鎌倉世界遺産登録推進協議会

共催 / 鎌倉の世界遺産登録をめざす市民の会

ワークショップ『世界遺産に鎌倉を』

市民の声にお応えして、世界遺産についてのワークショップを開催します。今一番知りたい世界遺産について、テーマ別に「みんなで聞いて、みんなで話す」ことから始めます。鎌倉の未来について、一緒に考えませんか。

とき / 2008 年 3 月 15 日 (土) 13:00 ~ 17:00 ところ / 鎌倉・御成小学校多目的ルーム (鎌倉駅西口 / 中央図書館手前) 参加費 / 無料 申込方法 往復ハガキ、FAX、メールに①〒住所②氏名 (ふりがな) ③電話番号④年齢⑤職業⑥所属団体 (ボランティア団体等) を記入して下記へお送りください。締切 / 2 月 29 日 (金) 必着 定員 70 人 (抽選) 問合せ・応募先 / 〒 248-8686 鎌倉市世界遺産登録推進担当「ワークショップ」係 Tel. 0467-23-3000 (内線 2674) FAX. 0467-23-1085 E-mail: sekaiisan@city.kamakura.kanagawa.jp

4 月 13 日 (日) ~ 20 日 (日)
主催 / 鎌倉市観光協会

第 50 回鎌倉まつり「鎌倉の世界遺産登録」

今回のメインテーマは「鎌倉の世界遺産登録」です。若宮大路のパレードに源頼朝・政子の行列や姉妹都市の武者行列等を予定。また下記の行事には当推進協議会も参加します。市民の皆様のご参加をお待ちしています。

プログラム ① 13 日 (日) 若宮大路パレード ② 14 日 (月) ~ 18 日 (金) 世界遺産候補地を中心にした寺社拝観めぐり (講師解説つき) ③ 15 日 (火) ~ 21 日 (月) <きらら鎌倉市民ギャラリー> 写真コンクールと世界遺産登録に向けての美術展示 ④ 19 日 (土) <きらら鎌倉地下ホール> 世界中の世界遺産に精通している工藤父母道さん (プロジェクト "ワールド・ヘリテッジ" 総括 / (社) 日本ユネスコ協会連盟評議員) の映像による世界遺産の講演会 主催・問合せ先 / 鎌倉市観光協会 Tel. 0467-23-3050

(※表紙 1 P のシンポジウム記事・続き)

武家社会と公家社会は同じ日本の文化とは思えない。公家の光源氏はよく泣きそしてよく笑う。感情が豊かなのが人間らしいとされている。武家社会になると「男は三年で片頬」という考えで感情を表に出さない。

私は武家の考え方は今でもずっと続いているのではないかと考えています。今の日本人の体質に基づいている武家文化の元はフランス革命にも匹敵する。それまでとはがらりと変わる、力がものをいう政治が鎌倉に始まる。大きな、大きな変化というところから鎌倉を見直したいです。平和のための武家が武力を振るう。すぐには武家と平和は結びつかないが敵味方問わず鎮魂することが一

つのテーマとなるのでは。そういう方向性だと鎌倉の説明がしやすいのではないのでしょうか。

内海 以前から鎌倉が宗教都市だというイメージは持っていました。鎌倉の本質を理解すれば慈悲の心、博愛精神の街にレベルアップが出来るのではないかと思います。

今までの努力でやっとこのような市と市民が協働できる場が出来ました。世界遺産登録に向けて、今までの発想に無いあり方を考えないといけないと思います。今回のシンポジウムを通して、鎌倉の世界遺産登録の意義や認識、具体的な街づくりについても市民の皆様と共有できる示唆を与えて頂きました。ご協力ありがとうございました。(了)

鎌倉世界遺産登録推進協議会ホームページ、只今更新中！
<http://www.shonan-it.org/KWH-kyogikai/>
古都鎌倉の世界遺産登録についての最新情報や、会報バックナンバー、世界遺産MAPなど、

編集後記

第 6 号はまずシンポジウム『ここまできた鎌倉の世界遺産登録』を取り上げました。鎌倉の登録への取り組みの現状と課題はようやく市民と共有できる所まできたようです。それに先立ち行われた基調講演で、長年鎌倉の世界遺産に関わってこられた伊藤正義さんから、鎌倉の世界遺産登録への具体的な示唆をいただけたのは、嬉しい限りでした。

協議会の事業もいろいろ進められていますが、「武家の古都・鎌

倉」塾は早乙女貢さんの記念講演以降 5 回に及ぶ講義と現地講義が終わりました。来年も継続されるようですから、世界遺産についての理解をより多くの人に広め、さらにより深い理解をしていただくことに繋がるのはありがたいことです。

『外国人から見た鎌倉』シンポジウムでは、世界遺産登録は鎌倉の価値を世界の人々に向けて発信するわけですが、鎌倉の中しか見えない私たちにとっていわば世界の人々からの貴重な提言をいただいたように思います。<広報部会長 内海恒雄>